



# 京都地本ニュース

JR西労組

西日本旅客鉄道労働組合 京都地方本部

発行責任者: 藤森 健二  
編集責任者: 濱本 祐輔

No.387 2024年9月1日

〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町 (京都駅構内 旧忘れ物センター 2階)

NTT 075-342-0850 FAX 075-342-0851

## 安全を基礎に絆を深め、未来を切り拓こう！

### 第33回定期地方本部大会開催！

8月7日、京都テルサにてJR西労組京都地本「第33回定期地方本部大会」を開催しました。

定期地方本部大会は、飯山副委員長を仮議長に、大会議長団には竹岡、徳原両代議員を選出

し開会されました。京都地本を代表して藤森委員長から大きく5点の課題提起が行われました。

#### 藤森委員長の挨拶 (要旨)

##### 【安全問題について】

2005年4月25日に発生させた福知山線列車脱線事故から19年、近江舞子触車事故から16年、伯備線触車事故から18年が経過、栗東～草津駅間の感電死亡労災からまもなく6年を迎えます。今一度、ルールや基本動作が必ず守られる環境づくり、私たちの原点である「安全最優先」の取り組みを全力で進めなければなりません。しかしながら「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の計画以降、2名の協力会社の方の尊い命を失いました。また、一步間違えれば重大労災につながる事象も発生しています。「心理的安全性」が高い職場づくりに向け、課題解決に取り組まなければなりません。アサーションに加え「A.B.C運動、当たり前のことを馬鹿にせずちゃんとやる」を浸透させ、「安全お守り手帳」を活用し、職場からの安全の取り組みをお願いします。事故後に入社した組合員が増えており、事故当時の事を語り継ぐ取り組みも継続実施していきたいと考えています。

##### 【労働協約改定交渉、2025春闘について】

労働協約改定交渉については、各級機関から多くの意見を取りまとめ、中央本部へ上申しました。昨年は、事前通知の一部見直しや、配偶者同行制度 (異動) など多くの成果を勝ち取りました。今年度においても、組合員が将来にわたり働きがいをもち、安心して働き続けることができるよう議論をしていくこととします。2024春闘においては、定期昇給含めて社員平均19,820円 (引上げ率6.3%)、年間臨給5.2カ月のほか、手当ての新設、既存手当ての増額・要件緩和など多くの成果を勝ち取ることができました。特に地上職の組合員から多くの感謝の声をいただきました。しかし、様々な物価上昇に日本全体の賃上げが追いついておらず、実質賃金はマイナスとなっています。2025春闘においては、JR西日本の好調はJR西労組組合員の頑張りであることを認識させ、更なる賃金の向上に取り組まなくてはなりません。そのためにも賃金実態調査での、各級機関全員参加の取り組みをお願いいたします。

##### 【業務課題について】

電気のセンター化、新たな近畿統括本部、保線区の大単位化、管理駅体制の見直し等、様々な大単位化を行ってきました。それぞれの個別の交渉において、超勤の現状、更なる業務量の増加への懸念、教育を含む技術継承、メリット・デメリットについては是非々々で議論をしてきました。地本・支部・分会と相互にコミュニケーションを行い、課題を洗い出しながら、施策を成熟させていきたいと考えています。各種施策については、分会や部会からの要求や意見を取りまとめ、しっかりと対応してまいります。

##### 【組織の充実強化について】

京都エリアの新入社員と社会人採用全員がJR西労組に加入いただきました。関係各位のご協力に感謝いたします。また当面開催できていなかったLM研修の再開や、女性いきいきフォーラム、ヤングユニオン研修の開催など様々な取り組みを実施してまいりました。

共済関係について、昨年7月に交連共済からこくみん共済COOPにセット共済の契約移転を行い、2025年4月に総合共済が「JR連合総合共済」として、制度改定される予定です。今後、制度改正の周知を図りたいと考えていますので、宜しくお願いいたします。

##### 【政治について】

政治とカネの問題が続き、いつ解散総選挙となってもおかしくない状態が続いています。京都地本の議員団については、梶原京都府議は、5月に地元山科で交流のあるお店の協力のもと、「初夏のかじ祭り」を開催されました。大伴長岡京市議、近藤向日市議も同様に市民の役に立つべく奮闘されています。友好議員の梶川議員におかれましても、様々な角度から住民目線での発言を議会ですべてしています。

JR西労組の政策や組織などに関わる課題の解決に向けては、政治活動の取り組みは極めて重要であり、無関心であっても決して無関係ではられません。今後も組織内議員の皆さんにご協力いただき、私たちの声を地域に届けるためにも自治体訪問などの活動を行っていきたく考えています。組織内議員や各級議員と共に活動するために、まず、交通政策を進める会への加入行動を行い、各選挙については、各級機関のご協力をお願いいたします。



藤森委員長の挨拶



議長団 (竹岡・徳原 代議員)